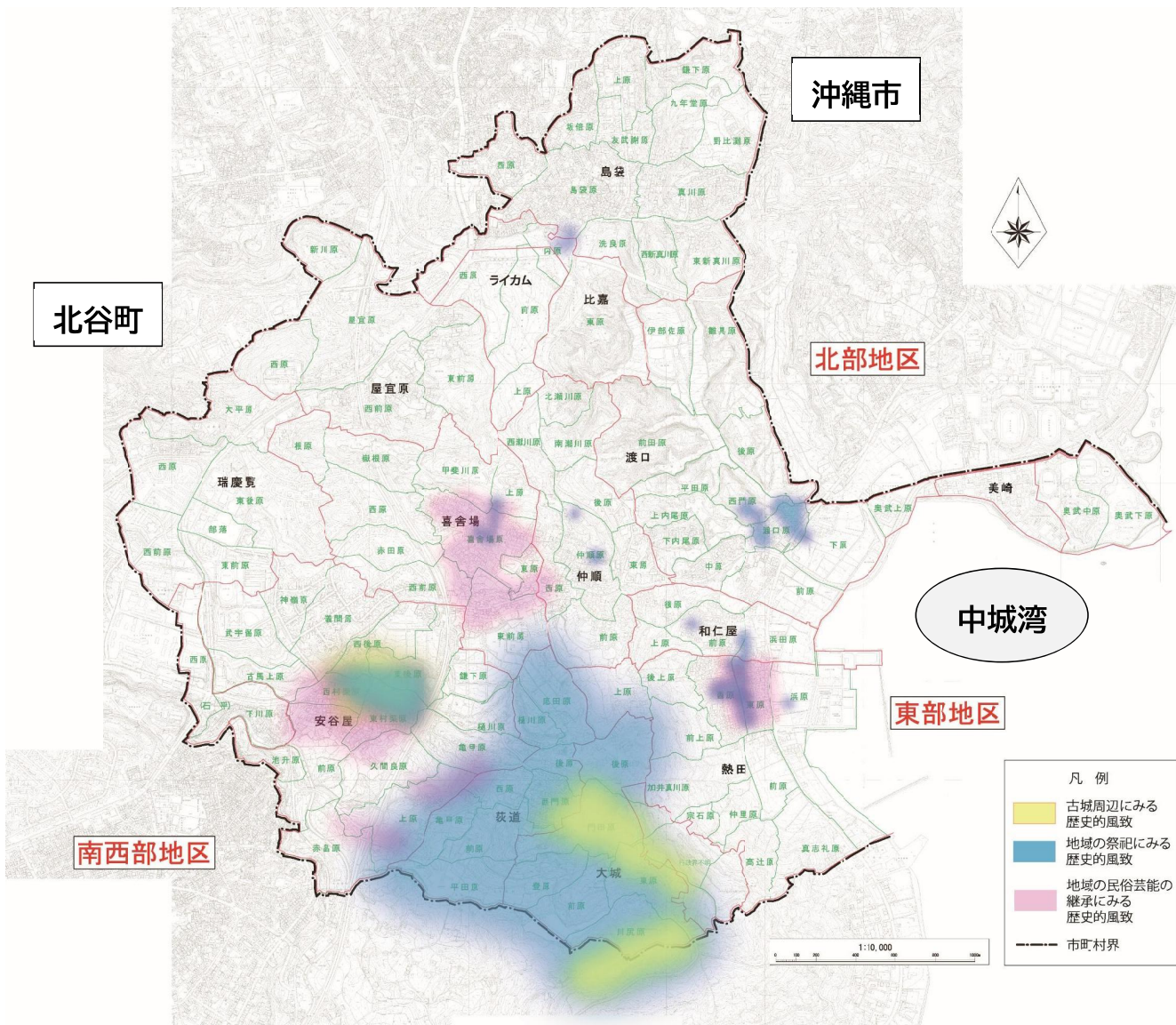


# 北中城村の維持向上すべき歴史的風致

計画期間

令和8年度(2026)～令和17年度(2035)

北中城村は、沖縄本島中部に位置し、中城湾に面した海岸低地から丘陵地・台地へと変化に富んだ地形を有する。中城城跡をはじめとするグスクや御嶽、拝所、湧水(カー)などが点在し、これらを舞台に祭祀や民俗芸能、集落景観の維持といった人々の営みが重なり合い、歴史的な景観と一体となった歴史的風致を形成している。



## (1) 古城周辺にみる歴史的風致

北中城村南部のグスクを望む集落では、ウマチーなどの祭祀や花咲爺会による緑化活動など、地域住民を主体とした多様な活動が行われている。



花咲爺会による緑化活動

グスクという歴史的な景観と人々の暮らしや信仰、交流とが結びつき、一体となった歴史的風致を形成している。

## (2) 地域の祭祀にみる歴史的風致

御嶽や神屋、カーなどの聖地を舞台に、ハタスガシーや綱引きといった祭祀が執り行われている。聖地を拝する人々の厳かな佇まいと祭祀の賑わいが重なり合い、地域への信仰に根差した歴史的風致を形作っている。



荻道・大城のハタスガシー

## (3) 地域の民俗芸能の継承にみる歴史的風致

各集落の聖地などを舞台として行われる民俗芸能であるエイサーは、演舞の躍動感や太鼓の響き、そしてそれを見守る地域の人々の賑わいが重なり合い、集落を一体とした歴史的風致を形成する。



熱田のエイサーの道シュネー

# 北中城村の重点区域における施策・事業概要

重点区域の名称・面積

北中城村歴史的風致維持向上重点区域 ・ 約 36.3ha

重点区域は、北中城村固有の歴史的風致が重なり合い、重要文化財・中村家住宅や世界遺産・中城城跡など歴史的価値の高い建造物が集中し、良好な景観形成が形成されている荻道・大城周辺の区域を設定する。

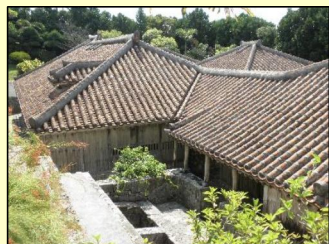
重点区域においては、歴史的建造物の保全・活用や、地域住民の意向も踏まえたまちづくりの事業展開をとおり、歴史的風致の維持および向上を図る。

## ○村内遺跡等予備調査事業

大城グスク、ミーグスクなどが所在する重点区域北側丘陵の詳細調査を実施する。

## ○「中村家住宅」管理防災設備保守点検等整備事業

重要文化財中村家住宅の点検・環境整備を実施する。



## 【その他重点区域全体を対象とした事業】

### ○景観形成助成事業

荻道・大城地区において、良好な景観形成のため琉球瓦葺き屋根や生垣等への助成を行う。

### ○空き家・空き地活用検討事業

良好な景観形成のため、重点区域において適切な管理がなされおらず周辺環境への悪影響が懸念される空き家・空地等へ実態調査を実施する。

### ○北中城村歴史まちづくり重点区域基本構想・基本設計策定事業

### ○北中城村歴史まちづくり重点区域実施設計策定事業

荻道・大城周辺の歴史的風致の価値向上を図るため、住民と協働しながらまちづくりの方向性や指針等を定め、これに基づく基本構想・基本設計および実施設計を策定する。

